

EV チャージステーションが高電圧充電に対応 ～最新 EV モデルをさらに速く充電～

2026 年 9 月 16 日

株式会社パワーエックス

株式会社パワーエックス（本社：岡山県玉野市、取締役 代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕、証券コード：485A）は、EV チャージステーション事業において、東京・有明の既存拠点を最大出力 240kW へ改修し、本日より高電圧充電に対応しました。この対応は 2026 年末までに約 20 拠点へ順次拡大し、その後、全国のステーションへ展開していきます。



画像：高電圧充電に対応した EV チャージステーション（東京都江東区）

車両：BMW iX3 50 xDrive

今回のアップグレードは、既設の蓄電池型超急速 EV 充電システム「Hypercharger」のケーブル・充電ガンおよびソフトウェアの一部改修により実施するもので、改修後は最大電圧 1,000V、1 口単体利用時で最大 240kW の充電が可能となります※。また、本製品は 358kWh の大容量蓄電システムを搭載しているため、これまでと変わらず、低圧受電のままでも高出力充電を実現しています。なお、従来の 400V 系の車両にお乗りの方も、これまでと変わらずご利用いただけます。

また、充電コネクタ・ケーブルも刷新し、コネクタの軽量化と柔軟性の高いケーブルの採用により、充電時の取り回しなどユーザビリティも向上させました。

近年、プレミアムブランドを中心に、高電圧システムを搭載した最新の EV モデルが登場しており、国内でも市場投入が今後加速する見込みです。本アップグレードにより、これらの車両が持つ充電性能を最大限に引き出します。長距離ドライブの途中に立ち寄れば、わずかな休憩の間に充電でき、経路充電のストレスを大幅に軽減します。

パワーエックスは、今後も充電インフラの高度化と拡充を通じて、日本における EV の普及促進とカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※実際の充電出力・電圧・電流は、車両側のバッテリーの温度や充電量の状態、および、系統からの受電制限等により変動します。

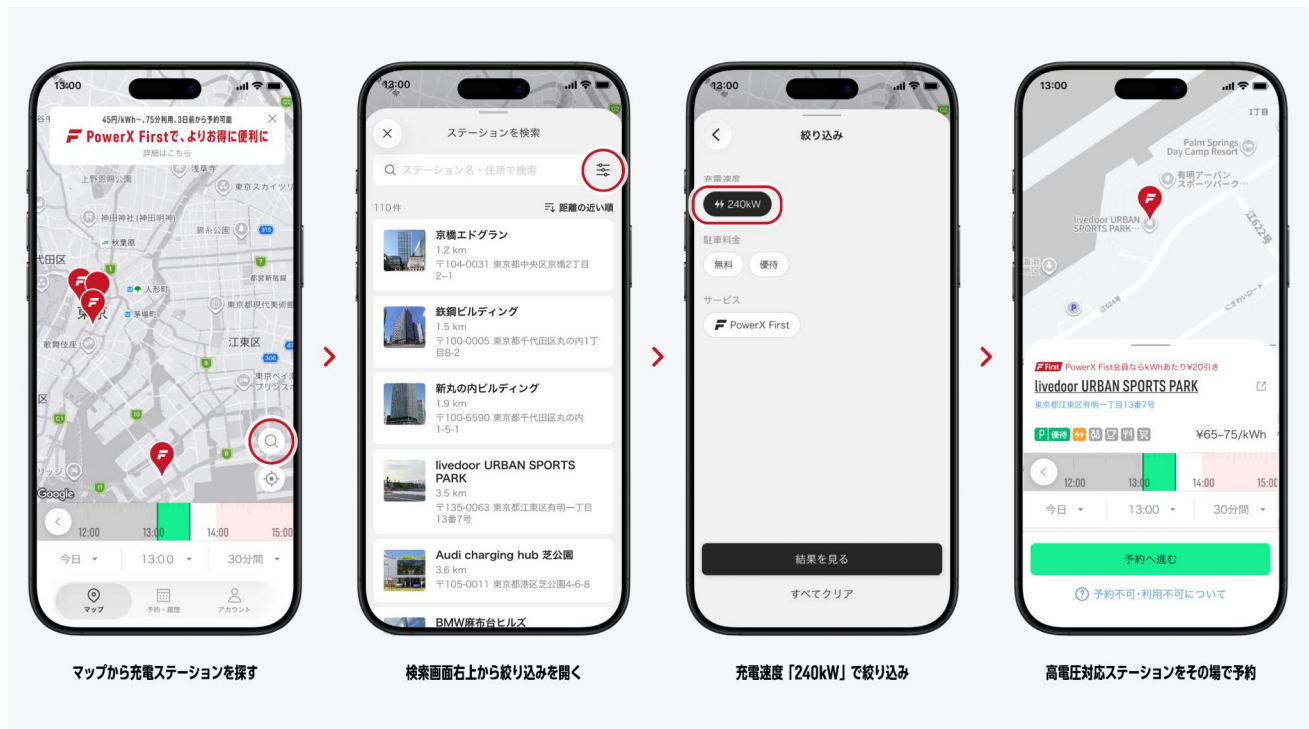


画像：PowerX アプリでの充電中の様子

【高電圧充電対応の概要】

- 対象製品：パワーエックス製 蓄電池型超急速 EV 充電システム「Hypercharger Standard」
- 最大出力：240kW（1 口単体利用）／2 口同時利用時は 1 台あたり最大 120kW
※ブーストモード終了、または、車両側の制限により 240kW を継続できない場合があります
- 最大電圧：1,000V
- 対応車両：高電圧システム搭載 EV、および、従来の 400V 系 EV
- 充電規格：CHAdeMO 2.0.2
- 提供拠点：「Livedoor URBAN SPORTS PARK」（東京都江東区）
※2026 年末までに約 20 拠点へ順次実装し、その後、全国のステーションへ拡大を予定。

高電圧充電に対応した拠点は、PowerX アプリ上で最大充電速度「240kW」と表示され、地図の絞り込み検索から簡単に見つけることができます。



【報道関係者お問い合わせ窓口】

株式会社パワーエックス 社長室 広報担当(担当者：大津)

Email: pr@power-x.jp TEL: 050-1754-0205